**第２回 松山オレンジカップ帆走指示書**

１．適用規則

　国際セーリング競技規則２０１７‐２０２０（ＲＲＳ）に定義された規則を適用する。ただし、これらの規則等のうち、この帆走指示書で変更されたものを除く。なお、レース公示と帆走指示書の矛盾ある場合は、帆走指示書を優先させるものとする。

２．責任の所在

　艇と乗組員の安全はオーナーの避けられない義務であり、オーナーは所有艇が十分に艤装され且つ必要な耐航性を保ち、荒天の海に適した経験豊かなクルーを乗り組ませるようにしなければならない。

オーナーは艇体、スパー、リギン、セール、及び全ての設備を確実に整備し、又安全備品が適正に維持格納され、それ等の使用法と置き場所を乗務員に熟知させておかなければならない。本レースにおいて、レース中・回航中を問わず艇と乗員全ての安全責任はオーナー及び艇長にあり主催・運営・協力に関わる団体は、レース参加艇の乗組員及び艇体の安全について何等責任を負うものではない。

３．レース本部

　レース本部は、レース前日においては「堀江海の駅うみてらす」とし、レース本部に設置した公式掲示板において競技者に対する通知を行う。また、レース当日においてはオレンジ旗を揚げたヨットとし、以下本部船と呼ぶ。

４．コミッティーボート

　　　コミッティーボートはオレンジ旗を揚げたモーターボートである。

５．競技者に対する通知

５．１　帆走指示書に関する変更・追加事項等は西内海ホームページに掲示する。西内海ホームページに通告された事項の確認責任は各艇にある。

http://www.nishinaikai.com/

５．２　レース当日の海上で口頭により変更を通告することがある。この場合、Ｌ旗を揚げたレースコミッティ（本部船またはコミッティーボート）から通告する。

６．レース日程

9月22日（日） 17:30～18:15　 出艇申告受付（レース本部）

　　　　　　　 18:15～18:30　 スキッパーズミーティング（レース本部）

　　　　　　　 19:00～21:00　 前夜祭（誠寿司）

9月23日（月） 08:45　　　　　クラスＢ（オープン）　レース予告信号

　　　　　　　 08:55　　　　　クラスＡ（レーサー）　レース予告信号

　　　　　　　 （フィニッシュ）　 フィニッシュをもって、帰着申告受付と見なす。

　　　　　　　　　　　　　　　　　リタイヤした艇は、速やかにレース本部に連絡すること。（※連絡先のいずれかに連絡）

* 出艇数によってはクラスA、B同時にスタートすることがあります。この場合、スタートはクラスAの時刻、クラス旗を適用し、クラスBのクラス旗（日の丸）は使用しません。

**７．レースコース**

全クラスとも、

堀江沖（およそ33度55分N,132度44分E）スタート

→野忽那島（時計廻り）→鹿島（時計廻り）→堀江沖（ブイを時計回り）→鹿島（時計回り）

→堀江沖フィニッシュ

鹿島回航時は玉理・寒戸の外側を通ること。　　※約22NM。別紙コース図参照

**８．マーク**

スタートマーク及びフィニッシュマークは、オレンジ三角錐型ブイを使用する。

**９．スタート**

９．１　レースはＲＲＳ．２６方式に従いスタートする。

９．２　スタート信号は本部船より発せられる。

９．３ スタートラインは、本部船のオレンジ旗を揚げたポール又はマストとマークの間とする。

９．４　スタートラインは、スタート２０分後に閉鎖する。それ以降にスタートした艇は“ＤＮＳ”と記載される。これは、付則Ａ４．１を変更するものである。

９．５　クラス旗として右記２種を用いる。　　クラスＡ（レーサー）　Ｄ旗

　　　　　　　　　　　　　 　 　　　　　　　　　クラスＢ（オープン）　日本国旗（日の丸）

９．６　風向によっては、ウェザーマークを使用する場合がある。（本部船より指示）

９．７　ゼネラルリコールの場合、次のスタートはラウンド・アン・エンドルールを適用する場合がある。

**１０．フィニッシュ**

１０．１　フィニッシュラインは、本部船のオレンジ旗を揚げたポール又はマストとマークの間とする。コース側から流し込みでフィニッシュすること。

１０．２　コース短縮の場合は、状況によりＡ、Ｂ、Ｃの３か所のいずれかで行う。フィニッシュラインは、

Ａ）一度目の鹿島水道の北側入り口の「鹿島北側の赤灯台」とコミッティーボートのオレンジ旗ポールを結ぶライン。

　　　　Ｂ）堀江沖スタート地点。

Ｃ）二度目の鹿島水道の北側入り口の「鹿島北側の赤灯台」とコミッティーボートのオレンジ旗ポールを結ぶライン。

　　　　　　　スタート後のコース短縮は、Ａ、Ｃ地点ではコミッティーボートにＳ旗を掲揚し、フィニッシュラインを設定する。堀江沖においては本部船にＳ旗を掲揚する。コースにより不利益になっても救済は行わない。コース短縮の場合、フィニッシュラインをコース側から流し込みでフィニッシュすること

**１１．タイムリミット**

　タイムリミットはスタート後６時間とし、タイムリミット内にフィニッシュできない艇は“ＤＮＦ”として記録される。これはＲＲＳ３５及び付則Ａ４．１を変更するものである。

**１２．出艇申告及びリタイヤ・帰着申告**

　 １２．１　出廷申告は、９月２１日（土）１８：００までに事務局へＦＡＸ（089-958-6552）または、 メール（vitesse33cabrio@gmail.com）、もしくは９月２２日（土）レース本部へ提出。

　　　　 提出後に変更がある場合は、レース本部へ再提出してください。提出最終期限は、レース当日クラスＢ予告信号１０分前までに、レースコミッティ（本部船またはコミッティーボート）に提出とします。

　 １２．２　途中で当該レースを棄権する艇は、速やかにレース本部に申告すること。（※連絡先のいずれかに連絡）

　 １２．３　フィニッシュをもって、帰着申告受付と見なす。

**１３．抗議と救済**

　 １３．１ 抗議は、ＲＲＳ６０により、レース本部に備え付けた所定の抗議書を用い、その日の最終レース終了後６０分以内にレース委員会に提出しなければならない。但し、期限延長する理由があるとプロテスト委員会において認められた場合はこの限りでない。

　 １３．２　プロテスト委員会は、受付順に抗議の審問を行うものとし、審問の時刻及び場所は、公式掲示板により通告する。

　 １３．３ レース委員会またはプロテスト委員会による艇への抗議の通告については、ＲＲＳ６１．１（ｂ）を変更し、公式掲示板に被抗議艇のセール番号を掲示することで、代替する。

**１４．順位及び時間修正システム**

　各クラスとも所要時間にレース委員会で決めるハンディキャップ係数を乗じて得た修正時間の少ない艇を上位とし、修正時間が同じ場合、ハンディキャップ係数の小さい艇を上位とする。

**１５．インスペクション**

　　　レース委員会及びプロテスト委員会は本レース中いつでもインスペクションを行う権限をもつ。

**１６．海上での連絡先**

携帯　080-5663-1952　又は　090-3189-0672、　国際ＶＨＦ・ＣＨ７３

**１７．賞**

　　　各クラスとも１位（成績決定後、直接送らせていただきます。）

**１８．注意**

レースコースとなる釣島水道北東及び斎灘は、本船航路となっており、通航船舶・一般船舶の航行に支障のないように充分注意して帆走すること。

　　　また、野忽那島・鹿島回航時は、浅瀬・岩礁がありますので、チャート等で確認し、十分注意して帆走すること。芋子瀬戸にある干出岩と野忽那島の間、野忽那島と田ノ島の間、鹿島と千霧、男小鹿島、玉理寒戸の間、鹿島北東部突堤とその先の一文字の間は航行禁止とする。

**１９．レースの中止**

　 １９.１ 濃霧等により視界約２，０００ｍ以下、風速１２ｍ／s以上とレース委員会が判断した場合はレースを中止する事が有る。

　 １９.２ レースが中止になった場合は、レース参加費の払い戻しは無いものとする。

**第２回　松山オレンジカップ**

**出艇申告書**

レース中、回航中を問わず、艇と乗員の全ての責任は自艇にあり、セーリング競技規則及び本大会に適用されるその他の規則に従うことに同意します。

2019年　　　月　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 Ａ（レーサー）

艇名：　　　　　　　　　　　　　　 　　　セールNo.：　　　 　　クラス：Ｂ（オープン）

非常時連絡先　　氏名:　　　　　　　　　　　　　　 TEL:

 　住所：

乗員一覧表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 住所 | TEL |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
| 7 |  |  |  |
| 8 |  |  |  |
| 9 |  |  |  |
| 10 |  |  |  |
| 11 |  |  |  |
| 12 |  |  |  |
| 13 |  |  |  |
| 14 |  |  |  |